

自治医科大学大学院 医学研究科 博士課程 4年生

駒田 敬則さん

地域医療学系専攻：腎尿路疾患学専攻分野 腎臓内科学
自治医科大学 医学部 医学科 出身



左が駒田敬則さん

私は自治医科大学を卒業後、臨床医として9年間、地域医療を行ってきました。34歳になってから大学院に入った目的は、2つあります。一つは、臨床現場で生じた医学的な疑問点を自分で解決できる、研究者としての考え方・手法を身につけること。もう一つは、学生時代からの夢であった海外留学に向けて、基礎を学ぶことです。

自治医科大学大学院を選んだ理由は、妻も自治医科大学出身であり、一緒に、自分たちの出身大学で学びたいと思ったからです。本学では大学院生は研究に専念できるという環境も、大きな理由でした。

ラボでは環境に恵まれ、農学部・薬学部など様々な分野出身の若い研究者から、多くの実験法を学んでいます。ラボミーティングでは、教授からもきめ細かい指導を受け、研究を進める事ができています。

入学当初は子供が小さく、育児も不安要因でしたが、夫婦で分担し、研究する時間をずらすことにしました。朝は妻に世話を任せ、私は研究を早朝から行いました。そして、夕方は私が早く帰り、子供の世話をしています。妻も私も十分な研究時間を確保することができ、論文を早期に完成することができました。国際学会発表も経験し、自分たちが得た成果を、積極的に海外に発信できたと思います。

本学は、様々なバックグラウンドの大学院生が学んでいます。自分に合ったスタイルで、最新の研究に携われることはとても幸せです。長い医師人生の中、本学で新しい挑戦をしていただければと思います。